

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム さつき

## 目標達成計画

作成日：令和 5 年 7 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	地域と一体化する意味でも、外部の方にも理念がわかるように工夫してみたいか。	ホームの基本理念の設置場所を工夫して、外部の方(地域)とも一体化できるホーム作りができる。	玄関先等や外部の方にも分かる場所にホームの基本理念を掲示したりその他工夫をおこなう事で、社内だけの理念浸透だけではなく、地域と一体化したグループホーム作りをおこなう。	12ヶ月
2	11 (7)	職員の考え方の一つとして、年齢差、性格などを施設の今の状態に合わせたベクトル調整をしてみたいか。	職員の年齢差や性格等に合わせた意見(提案)を受け入れ反映する。	職員会だけでの意見を反映するのではなく、個別面談機会を増やす事で個々の考え等を把握しながら、施設の目標達成に向けての取り組みをおこなっていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。